

近年誕生した、お酒の新ブランドの観察

New booze brands born in the decade of 2020s.

チャオ、チャーオ、シーナです。● 2020年以降に誕生した新しいお酒のブランドを集めてみました。とても多くて、写真を掲載したのはごく一部。特にクラフトビールとワインは掲載以外にもずいぶんたくさんあることをお断りしておきます。「クラフトサケ」「クラフトジン」という言葉も定着しましたね。● この傾向は日本だけではなく、例えば英国では、2023年に54もの新しい蒸溜所（スコットランドで3、残りはイングランドなど）が誕生し、総数が387になったそうです。● 新しいお酒ブランドの増加は、2020ディケードの世界的傾向のようですね。（pictures = Sienna K. Emiri）

C.2021 清酒 (にちにち) 日々醸造 (京都)

C.2021 清酒 井村屋 福和蔵 (三重)

C.2020 (ブランド) 清酒 (製造免許) IWA・白岩 (富山)

C.2021 清酒 上川大雪 函館五稜乃蔵 (北海道)

C.2022 清酒 八王子酒造 (東京)

C.2021 (免許再取得) 清酒 伊東株式会社 (愛知)

C.2024 (製造免許) ミード ミール・ミイ 京都蜂蜜醸造所 (京都)

C.2022 ミード ANTELOPE (滋賀)

C.2021 ミード はちみつ工房 (千葉)

C.2022 ジン 五島つばき 蒸溜所 (長崎)

C.2021 ジン 梅酒 CU9 (和歌山)

C.2023 ジン 深川蒸溜所 (東京)

C.2023 ジン TATEYAMA CRAFT GIN (千葉)

C.2023 ジン なたや 富士山蒸溜所 (山梨)

C.2021 ジン 八海山 二セコ蒸溜所 (北海道)

C.2023 ジン 十勝平野蒸溜所 (北海道)

C.2023 ジン 野沢温泉蒸溜所 (長野)

C.2021 ワイン かわうちワイン (福島)

C.2023 ワイン YOKA WINERY (北海道)

C.2022 ワイン 木谷ワイン (奈良)

C.2022 ワイン KANATA WINE (富山)

C.2022 ワイン イルフェボーワイン (長野)

C.2021 クラフトサケ haccoba (福島)

C.2024 クラフトサケ 稲とアガベ (秋田)

C.2023 クラフトサケ 平六醸造 (岩手)

C.2022 どぶろく てじま芳扇堂 (長崎)

C.2023 クラフトビール 法龍山麦酒 (神奈川)

C.2022 クラフトビール 別府ブルワリー (大分)

C.2023 クラフトビール Whale Brewing (佐賀)

C.2023 クラフトビール 愛媛果汁食品 (愛媛)

C.2023 クラフトビール Fest 365 Beer Works (埼玉)

C.2022 クラフトビール 野ばら デザイン (長野)

C.2023 クラフトビール 薩摩川内 味噌醤油 (鹿児島)

C.2023 クラフトビール 油伝麦酒 (栃木)

C.2023 クラフトビール SANKAKU BEER WORKS (鹿児島)

C.2023 クラフトビール HOPDOG BREWING (秋田)

C.2024 クラフトビール グレート・デー・ブリューイング (宮城)

C.2023 ラム 天神村蒸溜所 (愛媛)

C.2022 ラム 房総大井倉蒸溜所 (千葉)

C.2023 ワイン Komorroko Wine (長野)

C.2022 ワイン 上ノ国ワイナリー (北海道)

C.2023 ワイン 朝陽ワイン (鹿児島)

C.2022 ワイン セブンシダース ワイナリー (山梨)

C.2023 ワイン 武龍ワイナリー (茨城)

C.2022 シードル LOWBROW CRAFT (北海道)

C.2022 シードル (ひび) 株式会社日々 (山形)

C.2024 (2022免許取得) ウイスキー (ニューボット) 西堀酒造 小山蒸溜所 (栃木)

C.2024 (2022免許取得) ウイスキー (ニューボット) 月光川蒸溜所 (山形)

C.2024 (2022免許取得) ウイスキー (ニューボット) KAMUI WHISKY (北海道)

C.2024 (2023免許取得) ウイスキー (ニューボット) LINK 北軽井沢蒸溜所 (群馬)

C.2021 ウイスキー アクサス 六甲山蒸溜所 (兵庫)

C.2022 ウイスキー 常楽酒造 (熊本)

C.2021 ラム 天神村蒸溜所 (愛媛)

C.2022 ラム 房総大井倉蒸溜所 (千葉)

※表示の年：「当該のお酒の販売を開始した年」を念頭に記載していますが、自社ホームページに発売開始時期や創業年の記載がない場合も多く、推定年の場合もありますので「C.202X」と記載しています。(C.=Circa、「年ごろ」の意味) 1~2年の誤差があるかもしれません。
※画像：実際の商品を撮影したもののほか、ネットやカタログなどから取り込んだ画像で構成しています。

<参考情報> 表は酒類免許の取得状況を、直近の2023年まで観察したものです。(国税庁の公表情報から暦年で集計) 2020年代になって、酒造業に活発に参入が続いている状況がわかります。(text = k.2neo)

| | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 備考 |
|-----------------------|-------|-------|-------|----------------|
| ●酒類全体 | | | | |
| 新規に交付された「酒類製造免許」の数 | 265 | 298 | 305 | 全酒類の合計、試験免許を除く |
| 移転・譲渡された「酒類製造免許」の数 | 58 | 37 | 64 | |
| 新規に交付された「酒類の試験製造免許」の数 | 95 | 34 | 43 | 全酒類の合計 |
| ●個別の免許 | | | | |
| 新規の「ウイスキー」製造免許の数 | 23 | 24 | 26 | |
| 新規の「果実酒」製造免許の数 | 44 | 41 | 50 | |
| 新規の「その他の醸造酒」製造免許の数 | 15 | 14 | 12 | |
| 移転・譲渡された「清酒」製造免許の数 | 10 | 3 | 4 | 試験免許を除く |

関連情報：2022年までの状況は、昨年の「お酒スタディステイクス」に掲載。QRコードで読めます。